

タイ・チェンマイ県 小規模コーヒー農家の 所得向上支援事業

特定非営利活動法人 NGOクワトロ



2026/8



昨年度は、貴財団のご支援により、ラオスで技術指導とChatBotの実証を行いました。
今年度は、成果と課題を基に、タイ・チェンマイ県で3年目の実証に取り組みます。

昨年度（ラオス）の成果



40%→10%

精製時の欠損豆率の改善

80以上/100

スペシャルティコーヒー基準
カップping評価スコア

1.5h→45min

アプリ導入により座学時間を
半減

約8割

農家の継続実践率

正しい技術にアクセスできない農家が
自ら品質を高め、適正な評価と取引につながる
持続可能な仕組みをつくる



開発途上国における特定地域の人々に対し、
教育面・経済面の支援事業を行い、一人ひとりのありたい姿を実現する

所在地 〒331-0047
埼玉県さいたま市西区指扇1328-50

創立日 2012年6月8日

代表者 理事長 座間 慶彦
理事 北川 棕太／井野口 碧依／中島 謙太

HP <https://ngoquatro.studio.site/#top>

私たちの支援地



ラオス 農家の現状

70%

ラオス人口の自給自足を中心とする小規模農家の割合
→通院や進学などの支払いができない

課題①：技術・手段の不足

品質向上のための専門知識などを学ぶ機会が限られており、技術が定着しない。

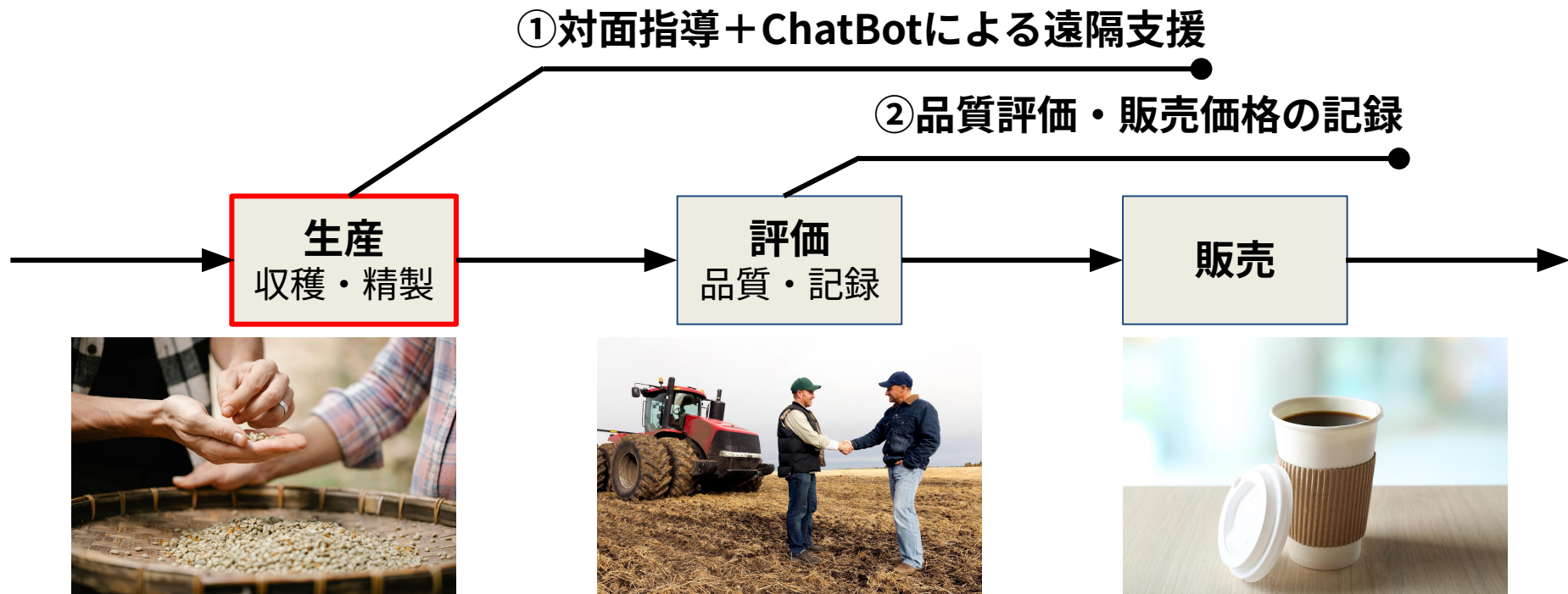
課題②：取引先の欠如

高品質な豆を正しく評価・適正価格で取引できるパートナーが少なく。安く買い叩かれる。

チャットボットによる 伴走型技術指導

- 時間／場所を問わない、オンラインでの技術指導の仕組みを構築
- SCAの評価基準に則した豆の評価機能もチャットボットにて実装

対面／遠隔指導・品質評価・販売までを一つの支援サイクルにする



従来：現地指導後は継続支援が途切れやすい

農家生産

収穫・精製

現地指導

事業終了



チャットボットは使われるほど賢くなる

農家生産

アプリ質問

技術実践

品質評価

販売価格

改善反映

対面指導+チャットボット

クワトロが提供する「+1」の支援

クワトロの支援の特徴

本プロジェクトは
コーヒー農家の生活を一変させるものではなく
生産／販売過程に「+1」の支援を提供する取り組みです

コーヒー農家が努力することで豊かになる、
当たり前の世界の実現に向けた支援の第一歩にしたい
という思いから生まれました



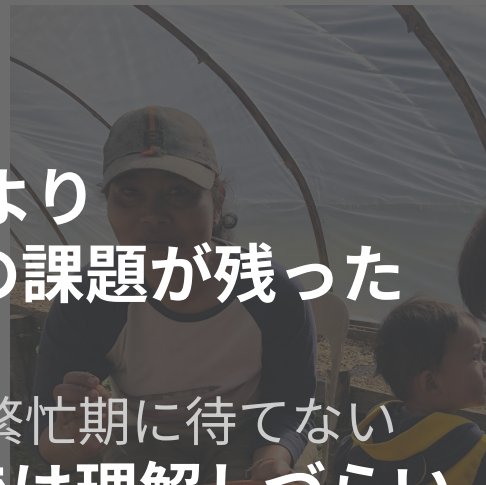
ラスボーンさん

分からないことを
その場で質問できるのは便利。
農園にしながらスマホで確認できる。



ナンラーさん

指導内容を忘れても
何度でも同じことを聞ける。
動画や画像でも出力されるのでわかりやすい。



ラオスでの活動により 成果が確認できた一方、3つの課題が残った

- ① 未登録質問は有人回答のため、繁忙期に待てない
- ② 直訳した専門用語が、現場では理解しづらい
- ③ 技術実践と品質・販売価格のつながりが見えにくい

分からないことを

その場で質問できるのは便利。

農園にいながらスマホで確認できる。

指導内容を忘れても

何度でも同じことを聞ける。

動画や画像でも出力されるのでわかりやすい。

チャットボットの特徴

📱 日常アプリで完結

農家が普段使い慣れているメッセージアプリ（Messenger等）で画像や質問を送るだけのシンプル操作。

🛡️ 専門家監修のカリキュラム

信頼できる独自栽培データベースのみを参照し、AIのハルシネーション（誤情報生成）を防止。

🔄 「わからない」と言えるAI & 知識循環

データベースにない質問は専門家にエスカレーション。回答がDBに自動還元され、使われるほど賢くなるエコシステム。

新規



<https://www.facebook.com/quatrongo>



24/365 即時対応

収穫や発酵など「今、その瞬間」の判断が必要な現場で、時間を問わず即時に助言を提供。



専門知識のスケール化

専門家の貴重な知見を、数百～数千戸の小規模農家へ同時に届けることが可能。



個別最適化

農家ごとの精製方法、習熟度に応じた的確なアドバイスをAIが自動で打ち分け。



多言語対応

AI翻訳精度は96%超。ラオ語含む、東南アジア言語にも対応可能。

チャットボットで実現したいこと

従来の支援には
時間と場所という構造的な限界がありました。
チャットボットで時間と場所の制約を乗り越え、
さらにAIにより、言語の壁も乗り越えました。

ラオスで育んだ支援の形で、
同じ課題を持つ**世界の農家の生活を改善する**ことを目指しています

タイはラオスとの共通点が多く、支援拡大先として最適

理由①：山岳地帯のコーヒー農家



タイの山岳地帯で生活しているコーヒー農家のほとんどが小規模農家。

理由②：小規模農家の抱える課題



ラオスと同様に自給自足生活が中心であり、現金収入が不足。

理由③：ラオスとの親和性



地理・文化・気候がラオスと酷似。共通の生産ノウハウが活用できる。



タイ国内屈指の コーヒー生産拠点

チェンマイ周辺は**コーヒー栽培が活発**な地域。栽培・加工技術の基盤と主要産地としてのエコシステムが確立されています。



LuLaLaoとの 現地コネクション

協力団体である**LuLaLaoが現地での指導実績あり**。現場のヒアリングを実施済みであり、現地コミュニティとの迅速な信頼構築が可能です。



農家の高い意欲と 知識の土台

農家の間で**高品質化への高い意欲と基礎知識**が存在。新しい技術やツールをスムーズに導入・定着させられる基盤が整っています。

LuLaLaoによる事前ヒアリングの結果、ラオスと同様の課題意識を持つチェンマイの農家への支援活動を通して昨年度の見つかった課題の解決を目指す

事業目的

チャットボットを活用した技術指導による豆の品質向上と、小規模農家の所得向上

活動 1

チャットボットの改良

チェンマイ農家の利用を通じたDBの拡充、ユーザビリティの改善

活動 2

AIチャットボットによる技術指導

Messenger等を通じた24時間伴走型の技術指導を提供

活動 3

品質評価

技術指導を通して生産された豆の品質評価を行い、技術指導の効果測定

3年目の支援で目指すもの

従来の専門家が現地にいる時だけの支援から
農家が必要な時に、必要な支援が届く仕組みを作る

対面指導を置き換えるのではなく、
現場での実践を支え続ける情報インフラをつくる

当初の計画の通り、昨年度までの課題と成果をもとに
本年度は拡大に向けた活動を進めていく

2024年

【1年目】



ラオス

プーオイ村での所得向上の検証
対面で技術指導

2025年

【2年目】



ラオス

ラオス南部でのフィージビリティ
チャットボット導入
継続学習の実証

2026年~

【3年目以降】



ラオス/タイ

他エリアでの拡大可能性の検討
AIチャットボット導入拡大
成果評価

NGOクワトロ

プロジェクト全体の進捗管理および統括
社会インパクト評価および成果の定期モニタリング
各パートナー間の調整・アライアンスマネジメント

Super Bloom

農家向けチャットボットの開発

コーヒー豆のPR／販売活動

コーヒー豆のブランディング支援

LuLaLao Coffee

チェンマイ現地での参加農家の選定

技術指導・チャットボット回答サポート

生産技術に関するマニュアル監修

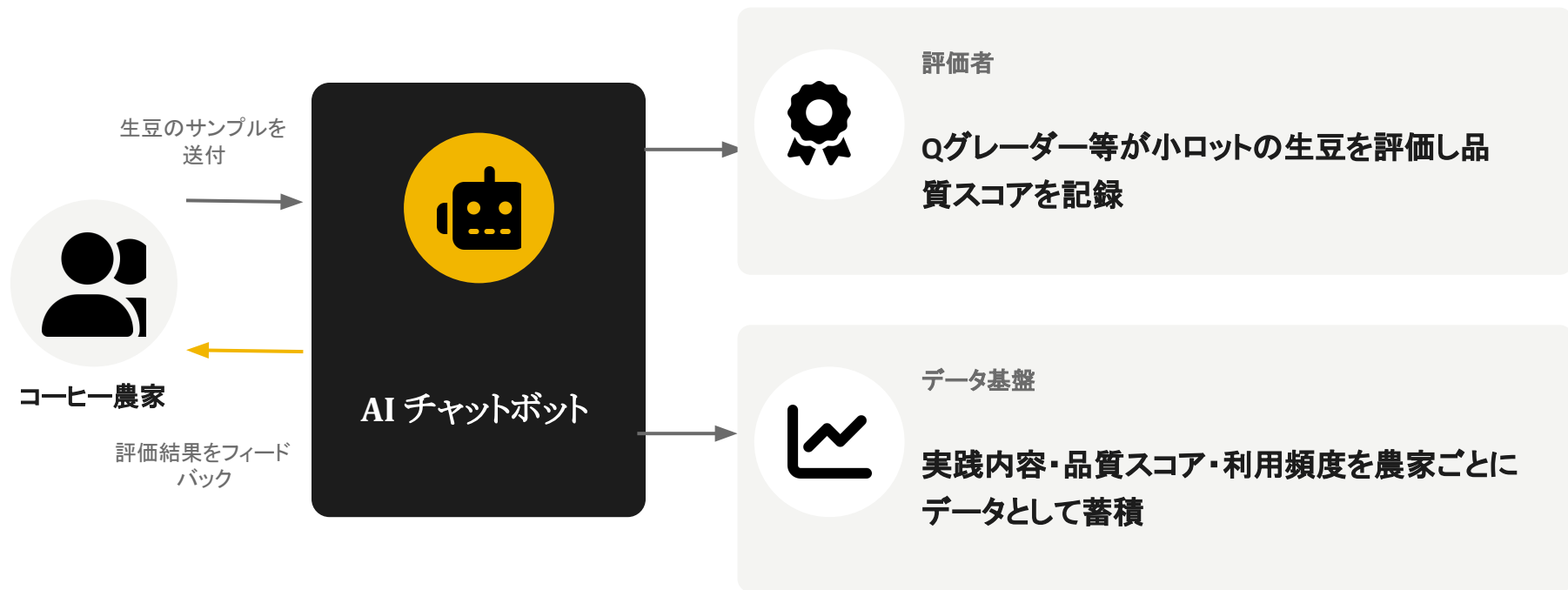
コーヒー豆の品質評価

今回、NGOクワトロが行う支援は
コーヒー農家の生活に寄り添い、
一歩ずつ努力しながら所得を向上させることで
世界中のコーヒー農家が
努力すれば報われる社会を実現する
そんな可能性を秘めています

過去2年間の皆様のご支援により
今回、**タイという新しい場所**で
支援の輪を広げられる可能性を見出しました。

まだ小さな光かもしれませんが、
ラオスから生まれた支援で
コーヒー農家とその家族の生活を
「より良い未来へと導く、一歩になる」
と信じています。







ご清聴ありがとうございました。

